

粘弾性評価装置

Anton Paar : MCR302



伸長粘度測定冶具
両巻きタイプ
*北陸地域ではここだけ

回転モード、振動モードであらゆる種類の溶液もしくは溶融体でのせん断及び伸長変形を加えた際の粘弾性が評価できる。

【特徴】

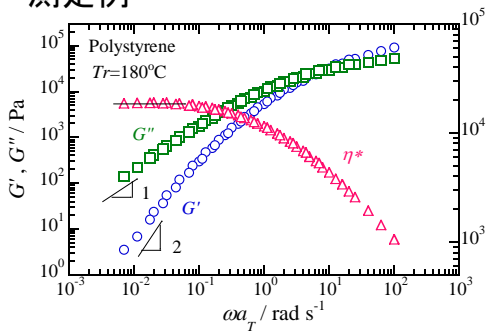
- ・ペルチェ素子による温度制御(～200 °C)
*降昇温に優れる(液体向き)
- ・対流式の温度制御(～450 °C)
*温度精度に優れる(溶融体向き)
- ・CCDカメラによる内部のリアルタイム観察

【応用分野】

様々な分野の材料設計、プロセス設計、品質管理に応用できる

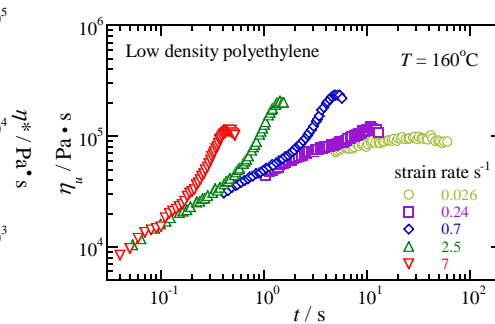
- ・樹脂成形加工
- ・化粧品・食品加工
- ・メディカル・バイオテクノロジー

測定例



ポリスチレンの動的粘弾性
($T_r = 180\text{ °C}$ のマスターカーブ)

材料の特性時間(緩和時間、ソル-ゲル転移点)、鎖・構造の安定性、有機・無機分散物の状態など、様々な情報が得られる



低密度ポリエチレンの伸長粘度
(ひずみ速度補正した後の結果)